



吉部小だより 2月号

宇部市立吉部小学校 (令和8年1月27日発行)

〒757-0401 宇部市大字東吉部3425-1 ☎ 0836-68-0101

吉部小学校はコミュニティ・スクールとして、地域みなさんと一緒に子どもの未来・吉部の未来をつくっていきます。

2025年度(令和7年度) 吉部小学校は、開校150周年を迎えました。

主体性を育む1年に向けて

新しい年が始まり、早くも1か月が過ぎようとしています。寒さの中にも少しずつ日差しの明るさが感じられるようになってきました。今月号では、始業式で私が子どもたちにお話したことをご紹介したいと思います。

始業式の日、私は「一年後、新年のちかいが叶っていたら素敵だね」と語りかけました。その未来に近づくには、言われたことをするだけでなく、自分で考えて行動する“主体性”が大切です。

授業で分からないところは先生に質問してみる。片付いていない掃除道具に気づいたら自分からそっと片付けてみる。地域の方に自分から大きな声であいさつをする。こうした小さな「自分から」の行動が、成長の確かな芽となっていきます。少し勇気が必要ですが、「その小さな一歩こそが未来の自分をつくるんだよ」と伝えました。

そして最後に、私は子どもたちに「学校を楽しくするのも、家庭を楽しくするのも、地域を楽しくするのも、すべて自分次第です。だからこそ、その一歩を踏み出す勇気を忘れないでほしい」と話しました。

新しい一年が、子どもたち一人ひとりにとって挑戦と成長に満ちた日々となりますように、全教職員で子どもたちを支えて参ります。1年後に子どもたちと「いい一年だったね」と笑顔で言い合えるよう、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



話を真剣に聞く子どもたち



新年のちかいを発表する様子

気持ちを合わせて



縄跳び大会に向けて、子どもたちが中間時間に長縄の練習に取り組んでいました。「1、2、3…」と声をそろえて数える姿からは、仲間と気持ちを合わせようとする真剣さが伝わってきました。また、跳び終わった後には、自然と笑顔が広がり、みんなタッチをして喜び合う姿も見られました。大会までの過程で育まれた協力する力や、成功を仲間と分かち合う喜びは、子どもたちにとって大きな学びとなりました。



上級生がつなぐ学びの時間 ～一斉下校スピーチを通して～

一斉下校の時に5・6年生が全校児童に向けてスピーチを行っています。その日の出来事や学んだこと、感じた思いを自分の言葉で伝える姿は、上級生としての自覚や責任感を育てる大切な機会となっています。また、下級生にとっては、話し方や聞き方、振り返りの大切さを学ぶ良い時間にもなっています。短い時間ではありますが、子どもたち一人ひとりの成長が感じられる温かな取り組みとして、これからも大切に続けていきます。



2月の主な行事予定



3	火	委員会活動
5	木	仮入学
13	金	授業参観、学級懇談会、学校運営協議会
16	月	読み聞かせ
20	金	スクールカウンセラー来校

